

科目	単位	時間	履修学年	講師名
暮らしを支える看護Ⅱ	1	30	2	
ねらい	地域・在宅看護の対象と看護活動の基盤となる概念を理解して、地域における看護活動につなげる。地域に暮らす人々の健康を守る看護について、深く理解し、看護活動につなげる。			
回数	授業内容			
1回目 ()	1. 在宅看護の目的と特徴 (1) 在宅看護の目指すもの (2) 在宅看護が提供される場			講義
2回目 ()	2. 在宅看護における看護師の役割 (1) 超高齢化社会の進展と地域包括ケア (2) 対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供 (3) 在宅看護における看護師の倫理			講義
3～4回目 ()	3. 在宅看護の対象者 (1) 年齢・疾患・障害・在宅療養別からみた特徴			講義
5回目 ()	4. 対象者としての家族 (1) 在宅看護の対象者としての家族 (2) 家族のとらえ方と看護師のかかわり (3) ケアマネジメントと社会資源の活用			講義
6～9回目 ()	5. 在宅看護にかかわる法令・制度とその活用 (1) 訪問看護制度の創設と発展経緯 (2) 在宅看護にかかわる法令・制度 (3) 保健・福祉制度（介護保険・障害者福祉他） (4) 訪問看護の制度とサービスの提供 (5) 予防活動と看護師の役割			講義
10～14.5回目 ()	6. 健康行動理論等の理解と活用 (1) 健康信念モデル (2) 自己効力感 (3) 変化のステージモデル (4) ソーシャルサポート (5) ストレスとコーピング			講義・演習
15回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	ナーシンググラフィカ 在宅看護論①	地域療養を支えるケア	(メディカ出版)	
	ナーシンググラフィカ 在宅看護論②	在宅療養を支える技術	(メディカ出版)	
評価方法	筆記試験 (1時間【45分】: 100点 : 60点(25分) + 40点(20分))			
備考				